



【学校教育目標】

Treasure Island

笑顔いっぱい

～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛



「心を見つめる教育週間」多くの学びがありました

6月27日～7月2日は、「高島っ子の心を見つめる教育週間」でした。今回は、その内容をお伝えします。

初日の全校朝会では、「命は大事」という話をしました。「自分の命は自分で守る」同様、子どもたちに大切にしてもらいたい言葉です。

命は、

①…誰もが一つだけもっていて

②…一度なくすととどらない

③…自分が自分である証（あかし）

高島小中学校には、今、13人の子どもたちの命があります。大切にされなくていい命など一つもありません。互いの命を尊重し、輝かせてほしいと願っています。

水道局出前授業

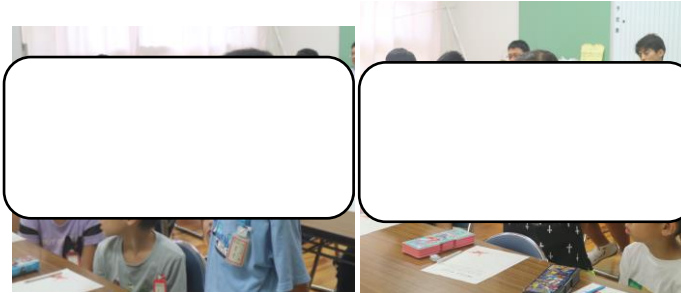
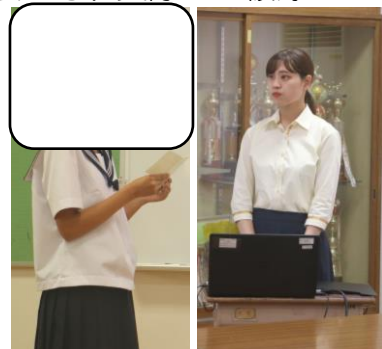
3・4年生は、社会科の学習で、長崎市上下水道局の〇〇さんら3名をお招きして、出前授業を行いました。子どもたちは、普段自分たちが当たり前に使っている水が、どのようにして家庭に届けられているのか詳しく学ぶことができました。「水」がなければ生物は生きていきません。まさに「命」に関わる学習でした。



被爆体験講話

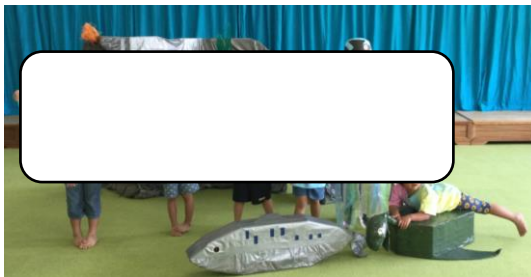
今年の「被爆体験講話」は、交流証言者の松野世菜（まつのせいな）さんに、被爆者である

山脇佳朗（やまわきよしろう）さんの体験をお話いただきました。交流証言者とは、被爆者の方々の体験を後世へ語り伝える、実際には被爆体験がない方々のことです。松野さんは、山脇さんの体験から、原爆の悲惨さ・戦争の残酷さを、時に涙ぐみながらもしっかりと伝えてくださいました。子どもたちも真剣に耳を傾け、〇〇さんや〇〇さん、〇〇さんが感想を発表したり、代表挨拶では〇〇さんが、「今日聞いた話を、家族にも伝え、平和を考えていきます。」と力強く感想を述べたりしました。



幼稚園でスイミーの音読劇

2年生の土屋美桜さんは、高島幼稚園で、5人の園児と一緒に「スイミー」の音読劇に取り組みました。地域の方々が見守る中で、緊張しながらの発表でしたが、しっかりとその大役をやり遂げました。「スイミー」はとても有名なお話ですが、ご存知でしょうか。これも「命」と「自由」に関わる物語です。あらすじを知りたい方は、ぜひ子どもたちにお尋ねください。（全員が小学校2年生で学んでいます。）



授業参観は！？

今回、「心を見つめる教育週間」の一環として、7月1日に「土曜授業」及び保護者・地域の皆さんと一緒に「地域清掃活動」を行う予定でした。が、何ということでしょう。その日、朝5時近くに「土砂災害警戒情報」が長崎市全域に発令されました。これは、災害警戒レベル4（避難指示）にあたり、学校も状況により臨時休校としなければなりません。いくつかの中学校の様子を伺ったところ、すべてが臨時休校の判断でした。せっかく準備を進めてきたので、予定通り行いたい思いはありましたが、子どもたちの命には代えられません。6時30分、安心安全メールで臨時休校の連絡を入れました。

授業参観等を楽しみにしていた保護者の方もいらっしまったのではないのでしょうか。残念ながら延期という形にはできませんが、授業参観等、いつでも構いませんので来校ください。その時間がテストという場合もありますので、よければ連絡を入れていただければありがたいです。